

パーキンソン病患者に対する LSVT®BIG の効果に関する研究

1. 研究の対象

2014年2月～2017年5月に当院で LSVT®BIG のリハビリテーションを受けた方

2. 研究目的・方法

【目的】

LSVT®BIGはパーキンソン病に特化した運動療法であり、歩行能力、バランス等の運動機能の改善が報告されている。

当院ではLSVT®BIGによる運動機能、姿勢、呼吸機能への効果、さらにはその効果の持続性について客観的に評価し検討する。

【対象】

主に運動症状を呈するパーキンソン病患者

【方法】

・LSVT®BIG実施前に評価

関節可動域、筋力、呼吸機能、運動機能

・4週間LSVT®BIG施行

・LSVT®BIG実施後に再評価し実施前後の変化を検討する

・さらにその後定期的に評価し、経時的変化を検討していく

【研究期間】

2018年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：運動機能、呼吸機能 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒616-8255 京都市右京区鳴滝音戸山町 8

資料 3

独立行政法人 国立病院機構 宇多野病院

リハビリテーション科 山本誠（研究責任者）

TEL (075) 461-5121 (代表)